

# さっぽろ え にわ 一般道道札幌恵庭自転車道線自転車道整備事業

受賞機関 北海道札幌土木現業所

はじめに

一般道道札幌恵庭自転車道線は、札幌市中心部から、北広島市JR北広島駅前を經由し、恵庭市へ至る自転車道であり、沿線には、JR駅、地下鉄駅、学校や文化施設、公園等があり、都心部とこれらの自然環境に恵まれた公園・文化施設等を結ぶ路線である。

今回、札幌市境界からJR北広島駅までの北広島工区を整備することにより、両市間の自転車ネットワークが形成され、サイクリングを楽しみながら両市の公園や文化施設等を利用するなど、地域住民の健康増進だけでなく利用者の交通安全確保に寄与するものである。

また、北広島市は、今回整備した7.2kmを含む北広島市域区間8.1kmを、市民が末永く愛着をもてるよう一般公募により愛称を「エルフィンロード」とし、また、自転車道の利便性や付加価値をさらに高めるため、自然体験や学習機能にも利用できる休憩施設である「学習の森」や「水辺の広場」の整備を行った。

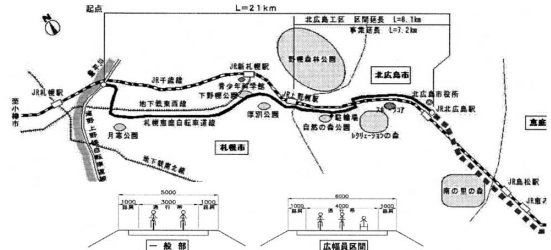
事業概要

- 延 長：7.2km
- 幅 員：3.0m～4.0m  
(1.8km区間は、車いすの利用者を想定し1m拡幅し、広幅員・緩勾配とした)
- 事業期間：平成9年度～平成17年度  
(平成16年10月16日供用)
- 事業費：約41億円

事業の特徴

本事業の特徴としては、北広島市のまちづくりにおけるノーマライゼーションの理念に基づき、車いす利用者のための広幅員化、休憩施設、各種案内表示板における多様な人々の利用を想定したユニバーサルデザインの採用、地域住民で構成される委員会による住民参画が挙げられる。

車いす利用者のため、1.8km区間において、幅員を1m拡幅するとともに、平均勾配を1.7%に抑え、安全・安心な通行に配慮した。自転車利用者の休憩、広域的な地域からの利用を図ることを目的とした休憩・交流の拠点施設である「自転車の駅」(平成17年



供用直後の利用状況

冬期における利用

度に整備)の整備にあたっては、車いすやオストメイト対応のトイレを設置、各種案内板、距離標等には、だれもが分かりやすく、自転車道に関する情報が得られるよう、ピクトグラム(絵文字)の使用や、漢字・ひらがな・英語を併記した。

本事業を進めるにあたり、「北広島市自転車利用者会議」を設置し、地域住民が参画して利用者の目線から使いやすさや利用促進、維持管理まで含めた提言をいただき、事業へ反映した。

また、自転車を都市交通の主要手段として位置づけている北広島市は、「自転車利用環境整備モデル都市」に選定されており、視覚障害者も参加する市民マラソンや、車いすマラソン、親子サイクリング等、各種イベントでの利用、放置自転車の再利用によるレンタサイクルの取り組み(平成17年5月より)を行うなど、さまざまな取り組みを行っている。

おわりに

今回の整備により、札幌市と「自転車利用環境モデル都市」北広島市間約21kmが自転車道で結ばれた。通勤・通学・サイクリングでの利用のほか、夏はジョギングやマラソン、冬は歩くスキーなど四季を通じての利用が図られるとともに、地域の活性化や観光振興に大きく寄与することが期待される。

賛助会員 (株)シーイーサービス